

## 川上懸賞論文奨学金報告書

### バスケットボールと社会貢献 ～Bリーグ Hope の持つ可能性～

#### ・論文内容

プロバスケットボール団体のBリーグは、Bリーグ Hope という社会貢献活動を通して、プロバスケットボール団体を単なる「観る」スポーツから、社会に貢献できるツールになるべく多くの活動を行っている。本論では、BリーグがBリーグ Hope という活動を通して社会にどういった貢献が出来るのか、その可能性について検証した。第1章ではBリーグ Hope の理念と、その目指す目標を書き、プロスポーツという一部のとびぬけた能力を持つアスリートが行う活動で、さらに自治体の支援や地域からの援助を受ける形で発展してきたコンテンツが、社会貢献活動を通じていかにその機能を拡大させることが出来るのか、Bリーグ Hope の活動と、過去のスポーツの社会貢献活動についての研究と照らし合わせながら、Bリーグ Hope の持つ可能性について問いを立てた。

第2章ではスポーツの地域貢献や国際貢献についての先行研究に触れながら、スポーツが過去に何を期待され、スポーツによる社会貢献が目指されるようになったかの歴史に触れ、社会に対してどのような貢献がなされてきたかの事例を示し、スポーツを通じた社会貢献がどのように行われてきたかを示した。結論として、スポーツを通じた社会貢献活動は、スポーツが地域や国際社会を繋ぐツールになり、多くの団体や企業が巻き込むことによって、単一の社会貢献活動では出来ない規模に活動を広げ、交流を増やせることに価値があることがわかった。

第3章ではBリーグが実際にBリーグ Hope を通じて行ってきた社会貢献活動の事例に触れ、Bリーグが何を目指し、期待して社会貢献活動を行ってきたかについて書いた。結論としてBリーグは国際貢献活動団体や、地域の市町村や、社会貢献団体と一体となり、プロバスケットボールリーグとクラブの持つ、選手や試合というコンテンツを多くの団体と巻き込みながら社会貢献活動を行っていた。

第4章では、第2章と第3章を踏まえ、Bリーグの社会貢献活動にどういった可能性を見出すことが出来るかを論じた。スポーツには、多くの企業や団体、コミュニティを巻き込みながら、人と人を繋ぐ機能があり、そういったコミュニティを活性化する機能を持つことで社会を活性化してきた過去があり、Bリーグ Hope の活動は現時点では小規模ながらも、多くの団体や企業を巻き込み、社会貢献活動に多くの接点を増やすことを目標とし、実行している点において、バスケットボールというスポーツを通じた社会貢献の可能性を見出すことが出来る。

#### ・奨学金使用内訳

- ・取材地(沖縄)への飛行機代

・宿代